

株式会社エフピコ
新 OPP 説明会 質疑応答 (サマリー)
(2026 年 4 月 30 日)

Q：新 OPP の価格政策においてどのような訴求を行うのか。価値訴求やトータルコストの優位性など、考え方を教えてほしい。

A：高機能材料として、汎用エンジニアリングプラスチックに近い価格帯でマーケティングを行っている。無塗装化や高耐久性、リサイクル性などを含めたトータルコストで評価いただいている。今後 2～3 年かけてマーケティングを進めながら、収益性の高い分野から展開していく。

Q：新 OPP に使用するポリプロピレンは、樹脂メーカーとの共同開発品なのか。

A：樹脂メーカーと共同開発はしているが、特殊なポリプロピレンではなく、シート化しやすいよう調整した一般的なポリプロピレンを使用。

Q：自動車分野の厳しいコスト競争にどう対応するのか。

A：自動車は 5～6 年先のモデルを見据えた話になるが、まずはエアロパーツやアクセサリパーツから展開を進めていく。

Q：新 OPP シートの紫外線耐性や経年劣化など競合素材に対する優位性を教えてほしい。

A：紫外線吸収剤の活用により、自動車用途で求められる 10 年相当の耐候性に対応可能。建材用途向けの長期耐久性や難燃性付与についても研究開発を進めている。

Q：新 OPP シートの生産サイズの制約を教えてほしい。

A：新 OPP シート「OPTENA」は幅・長さとも基本的に制約はない。一方、積層 OPP プレート「FORTENA」は現時点で最大有効幅 1,200mm、長さ 3,000mm を想定しており、2 号機以降は市場ニーズに合わせて多様なサイズ展開を検討する。

Q：積層 OPP プレートの高剛性タイプは特殊 OPP フィルムからしか製造できないのか。

A：高剛性タイプは坂東工場生産された新 OPP シートでも製造可能。

Q：「特殊 OPP フィルム」は何が特殊なのか教えてほしい。

A：樹脂メーカーと共同開発したポリプロピレンを用い、当社処方に基づき委託生産している専用フィルムであり、市販の一般的な OPP フィルムとは異なる仕様であることを「特殊」と表現している。

以上